



## 日本保育者養成教育学会 第1回研究大会が開催されました！

今年の3月5日(日)に白百合女子大学で日本保育者養成教育学会の記念すべき第1回研究大会が開催されました！この学会は、本学の初等教育学科の高橋貴志先生が事務局長を担っています。日本保育者養成教育学会の運営主旨は、保育者養成教員だけではなく、幼稚園、保育所、認定こども園、その他様々な施設の現場の教職員との協働によって保育者養成教育は行われると考えているところにあります。というのも、日本にはまだ保育者養成教育学が確立されておらず、保育現場での実習教育の重要性は誰もが認識しているところですが、実際には保育現場に実習教育が任されているがゆえに生まれてくる保育現場ごとの指導の違いや、養成校においてそれぞれの専門性を持つ教員が保育者養成を目指した学修の総合的な体験である教育実習や保育実習と繋ぐ授業展開の難しさは、保育現場の教職員との連携によって拓けるからです。このことから、第1回研究大会では、諸外国における保育者養成教育の動向を探る意味で、大会準備委員会企画シンポジウム「今、保育者養成教育とは？」を企画し、中国とフランスの保育者養成の現状報告を劉郷英先生と大庭三枝先生より、また日本の保育者養成における課題を諸外国と比較して上垣内伸子先生より伺いました。また、個人研究発表も、口頭発表とポスター発表が行われ、白百合女子大学からは、土橋久美子先生・石沢順子先生が、初等教育学科1年次夏季研修についてのポスター発表を、また初等教育学科助手の佐藤那美さんも保育現場へのイメージと就業自己イメージについてポスター発表を行いました。本学姉妹校の仙台白百合女子大学からも多くの先生方がご参加・発表されました。北は北海道から南は沖縄まで、多くの参加者との熱いディスカッションが繰り広げられ盛況のうちに研究大会を終えることができました。

今回の大会開催にあたり、学内のたくさんの教職員の方々、そして在学生に大きなお力をいただきました。いたる所で白百合のホスピタリティを感じることできる大会となり、ご協力くださいました皆様にお世話になりましたこと感謝申し上げます。

